

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和2年2月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	令和2年2月21日(金)午後0時00分
会議時間	午後1時35分から午後3時50分まで（2時間15分）
場 所	中部学校給食センター 会議室
出 席 者	鈴木典夫 教育長 前嶋康枝 委員 上原富夫 委員 大谷純應 委員 瀬川香織 委員 (計：5人)
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	伊藤秀志 教育部長 山本裕祥 教育監 本多晃治 教育企画課長 杉山資治 おいしい給食課おいしい給食推進係長 大庭英男 すこやか子ども課長 加藤邦夫 育ちの森所長 金田裕之 学校教育課長 杉山明子 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 野村浩二 袋井図書館長 大庭尚文 教育企画課長補佐兼幼小中一貫教育推進室長 小池信良 教育企画課教育総務係長 (計：12人) (合計：17人)
会議に付した 事件	別紙「令和2年2月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和2年2月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：令和2年2月21日(金)

午後1時00分開会

場所：中部学校給食センター会議室

会 議 日 程

日程第1 開 会

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 教育部月例事業報告

日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

協第1号 令和元年度袋井市一般会計補正予算（第5号）について

協第2号 令和2年度袋井市一般会計予算（総務費・民生費・教育費）について

（2）報告事項

報第8号 令和元年度幼稚園・保育所・こども園評価結果について

報第9号 （仮称）袋井南認定こども園住民説明会の結果について

報第10号 「袋井市立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」について

報第11号 令和元年度学校関係職員離任式、令和2年度学校関係職員着任式について

報第12号 令和元年度「袋井の学校教育」評価について

報第13号 「袋井市英語教育推進プロジェクト」事業報告について

報第14号 静岡理工科大学第26期卒業生卒業記念品の寄贈について

報第15号 令和元年度袋井市子ども読書活動推進計画読書調査結果について

報第16号 新システム導入後の運用状況について

報第17号 寄附品の受納について

報第18号 袋井市立学校設置条例等の一部改正について

日程第7 その他

（1）連絡事項

ア 学校閉庁日の設定について

イ 令和2年度 袋井市教育委員会の主な年間行事予定について

ウ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」令和2年3月号

(2) 次回定例会等の予定について

ア 2月教育委員会臨時会 2月28日(金)午後5時00分～ 301会議室

イ 3月教育委員会定例会 3月26日(木)午後1時30分～ 302会議室

(3) その他

日程第8 閉会

1 開会

●鈴木教育長

ただ今から、令和2年2月袋井市教育委員会定例会を開会いたします。

議事がスムーズに進行できますよう、御協力をお願いいたします。

2 会議録署名委員の指名

●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第16条第2項の規定に基づき、前嶋委員及び上原委員を指名いたします。

3 会議録の承認

1月定例会の会議録について承認されています。

4 教育長の報告

●主な報告事項

ベネッセ教育総合研究所視察対応

その他は資料のとおり

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

・令和元年度袋井市・森町・磐田市教育委員会懇談会 (2月12日)

・ベネッセ教育総合研究所視察対応 (2月13日)

・南の丘学園幼小中一貫教育全体研修会 (2月19日)

・幼小中一貫教育説明会 (2月29日、3月28日)

●おいしい給食課

・2019年度学校給食・食育総合推進事業事例発表会 (1月19日)

・第2回袋井市立学校給食センター運営協議会 (2月20日)

- 学校教育課
 - ・ 定例校長会 (2月10日)
 - ・ タブレット端末活用授業研修会 (2月17日)
 - ・ 不登校児等対策連絡協議会 (2月21日)
 - ・ 臨時校長会 (3月4日)
- すこやか子ども課
 - ・ プロジェクト型保育研修会 (2月4日)
 - ・ 定例園長会 (2月7日)
- 育ちの森
 - ・ ひまわり 野外体験活動 (2月25日)
 - ・ ひまわり 遠足 (3月10日)
- 生涯学習課
 - ・ 第2回青少年問題協議会 (2月18日)
 - ・ 第2回袋井市立図書館協議会 (2月18日)
 - ・ 第4回社会教育委員会 (2月19日)
 - ・ 学術交流振興基金運営委員会 (2月19日)
 - ・ 第2回青少年健全育成会議 (2月21日)
 - ・ 次世代リーダー育成塾総括講座・修了式 (2月22日)
 - ・ 少年地域交流事業どまん中交流事後研修会 (2月29日)
 - ・ 袋井市立図書館ボランティアのつどい (2月29日)
 - ・ 第2回家庭教育学級リーダー研修会 (3月6日)

6 議事

【協議事項】

(1) 協第1号 令和元年度袋井市一般会計補正予算(第5号)について

《説明者：教育企画課長》

●教育企画課長

初めに、補正予算の要因としましては、国における経済対策の一環として、教育に力点を置いた事業の前倒し政策に乗るものであり、本年度に予算化するとともに、同額を次年度へ繰り越すことで、新年度早々に事業を発注することが可能となります。

それでは、歳出から順次、ご説明します。歳出、10款2項3目教育施設整備費の3億7,309万円余の増額補正でございます。

内容につきましては、小学校施設機能向上事業として、小学校3校（袋井南小14基、浅羽南小16基、浅羽北小13基）のトイレの洋式化に向け、実施設計業務委託料400万円とそれに伴う諸工事請負費4,508万円等を計上しました。

また、校内通信ネットワーク整備事業につきましては、国が示すGIGAスクール構想の実現に向け、まずは、各学校内の通信ネットワークを高速大容量回線の接続が可能な環境を整えるとともに、無線LANを整備する経費等として、3億2,400万円を計上しました。

次に、歳出10款3項3目の教育施設整備費1億60万円の増額補正でございます。

内容につきましては、小学校と同様で、中学校施設機能向上事業として、中学校1校（袋井中・19基）のトイレの洋式化に向け、諸工事請負費1,960万円を計上しました。

なお、実施設計業務につきましては、当初予算の差額で実施済みであります。

次に、校内通信ネットワーク整備事業につきましては、校舎の改築改修が予定している浅羽中学校の除いた3校に無線LANを整備する工事費8,100万円を計上しました。

なお、浅羽中学校につきましては、校舎改築改修時に整備してまいります。

次に、歳入であります。歳入15款2項6目の教育費国庫補助金2億3,654万円余の増額補正につきましては、先程のトイレの洋式化に伴う学校施設環境改善交付金と、無線LANの校内通信ネットワーク整備対応臨時特例交付金でございます。

ちなみに、学校施設環境改善交付金は補助率3分の1、校内通信ネットワーク交付金は補助率2分の1であります。次に、22款1項4目2節の小学校施設整備事業債1億8,640万円及び2節の中学校施設整備事業債5,020万円につきましては、起債対象事業費から交付金で受ける金額を差し引いた額に、起債充当率を掛けたものであります。

校内通信ネットワーク整備事業につきましては、事業に拍車をかけるため有利な財政措置がされていまして、今回の補正で行うことにより、起債充当率100%、そして元利償還金に対する地方交付税の算入率は60%であり、一般財源の措置が無くても事業を進めることのできるメリットがあります。以上、説明となります。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

校内通信ネットワーク整備は、いつまでに終了しますか。

●教育企画課長

本年12月末までにネットワーク整備を終了し、3学期から活用できるようにしていきます。

●鈴木教育長

3学期に新たに端末を整備しますか。

●教育企画課長

端末の整備については、9月補正で予算要求していきます。

●鈴木教育長

袋井市・森町・磐田市教育委員会懇談会で、端末整備の際にソフト（ロイロノート）が重要であることをお伝えしたことについて、事務局からその後の状況について報告してください。

●教育総務係長

先日、3市町で校務用パソコンの担当者会議を行った際に、本市のロイロノートを紹介させていただき、磐田市、森町共に関心を持ってきて、一度、見学に伺いたいと言っていました。できれば、3市町でソフトを統一していきたいと考えております。

●鈴木教育長

今、磐周で足並みを揃えていこうと進んでいるところです。

本案は、原案のとおり承認します。

(2) 協第2号 令和2年度袋井市一般会計予算（総務費・民生費・教育費）について

《説明者：》

●教育企画課長

令和2年度の主要事業の概要について、所属ごとに報告させていただきます。

幼小中一貫教育を令和2年4月から全面実施します。市内4つの学園の自主的な取組を支援していくため、969千円を予算要求しています。学園開校式の開催、学園合同研修会の開催、学園公開日・週間の開催及び学園づくり事業費の活用を行っていきます。

次に、市内小中学校への通信環境整備であります。先程の補正予算で説明した内容であります。令和2年度から校舎の改築改修を行う浅羽中学校を除く15校の全普通教室、特別教室でタブレットが使用可能な環境を整備するものです。令和2年度内の整備完了に向け、調査・設計・工事発注を行っていきます。

次に、(仮称)袋井市教育会館の整備であります。予算額は299,790千円で、事業の目的として、新しい時代の子育て・教育の拠点として整備していきます。ICTによる教育の充実、外国人初期支援の充実及び教育の指導力向上を行っていきます。

次に、浅羽中学校の改築改修であります。令和4年度までの事業になります。令和2年度の当初予算は1,302,557千円であり、令和4年度までの総事業費は約30億円になります。令和2年度は、仮設校舎建築、南校舎改修及び南校舎中校舎解体を順次行っていきます。その他詳細は資料のとおりです。

[質疑・意見]

なし

●学校教育課長

全小学校への新デジタル教科書・プログラミング学習機器の配備であります。令和2年度の新学習指導要領の改訂に伴い、指導者用のデジタル教科書を導入します。また、プログ

ラミング教育の実践にあたり、小学校6年生の理科で使用する教材を導入します。当初予算額は、17,281千円であります。

次に、平成30年度から今井小学校で実施している「未来の教育」実証事業であります。平成30年度の4年生に一人一台タブレットを与えて実証事業を実施してきました。令和2年度には、その子たちが6年生になり、3年間の研究の最終年度となります。引き続き、個別最適化と協働的学習に取り組んでいきます。当初予算額は、5,148千円であります。

次に、小中学校の支援員等の拡充であります。令和2年度は特別支援学級等支援員の増員として、小学校の支援員を現在の36人から37人に増員し、中学校の支援員10人の計47人で、特別な支援を要する児童生徒への生活・学習支援を行っていきます。また、新たに中学校4校に「スクールサポートスタッフ」を配置し、授業準備や印刷業務等を行い、教育の負担軽減を図っていきます。当初予算額は、130,422千円あります。その他詳細は資料のとおりです。

[質疑・意見]

なし

●すこやか子ども課長

認可保育所の新設支援であります。当初予算額は115,570千円あります。待機児童解消に向け、認可保育所1園の整備を支援していきます。定員60人の民間事業者による認可保育所の整備で、令和3年4月の開園予定で、事業主体が合同会社のびやか保育園になります。場所については、東名袋井インターチェンジ南側の徳光地区になり、整備に対しては、国庫補助制度（国補助2/3、市補助1/12）を活用していきます。

次に、公立幼稚園の認定こども園化であります。令和2年度から袋井南幼稚園をこども園化しますが、引き続き、待機児童解消に向け、公立幼稚園の認定こども園化を推進していきます。当初予算額は47,515千円で、令和3年4月から浅羽東幼稚園（0～5歳児の認定こども園化）と若草幼稚園（3～5歳児の認定こども園化）のこども園化に向けて、園舎改築や備品整備を実施していきます。

次に、（仮称）袋井南認定こども園の整備であります。当初予算は88,721千円あります。令和4年4月に公立幼保3園を統合し、幼保連携型認定こども園を新設いたします。令和2年度は、基本設計審査後に施設整備補助金の申請を行います。また、地質調査、造成工事及び実施設計を支援し、実施設計後の令和3年2月頃から建設工事に着手していきます。ソフト面では、職員の人事交流を行っていきます。

次に、小規模保育施設の新設支援であります。当初予算額は200,639千円あります。こちらも待機児童対策の一環として、特に待機児童が多い0～2歳児を保育の対象とする小規模保育施設の整備を支援するものであります。令和3年4月開園予定の小規模保育4施設の整備に対し、国庫補助制度（国補助2/3、市補助1/12）を活用していきます。

次に、放課後児童クラブの増設であります。当初予算額は14,430千円で、学校の教室を活用して受け入れ児童を拡大していくものであります。共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの利用ニーズが年々高まっており、申込者数も増加しています。そのため、保護者の需要に応えられる環境を整備し、待機児童の解消に努めていきます。令和2年度には、山名小学校区において第4のクラブを開設するために、学校の教室を借用し、学校と児童クラブによるタイムシェアで活用していきます。また、袋井南小、袋井北小、浅羽東小学校においては、長期休業期間に学校の特別教室等を活用して放課後児童クラブを実施し、受入定員の拡大を図り、待機児童の解消を図っていきます。その他詳細は資料のとおりです。

[質疑・意見]

●前嶋委員

今後、他の幼稚園でもこども園化を進めていくのですか。

●すこやか子ども課長

今後、他の幼稚園のこども園化も進めていくこととなりますが、財政面や職員配置などを調整していく必要がありますので、どの園をいつ頃にこども園化するかは、今後検討していくこととなります。また、こども園化については、民営化を視野に入れて考えていきます。

●生涯学習課長

ふくろいメディア実験室であります。当初予算額は900千円であります。子どもたちが遊びを通してICTとアートに触れ、学習し、想像力を育む事業になります。静岡理科大学情報学部の教授の協力を得て実施するものであります。今まではアカウミガメの放流などの自然体験学習を実施してきましたが、これからのICT社会を生き抜くには、子どもの頃からICTに触れる中で、考える力や想像力を育むことが必要であるとの考えから、ICTを活用した体験学習を企画しました。令和2年8月(予定)に山名コミュニティセンターで、身近なICT機器を用いたアート作品をつくるワークショップを開催いたします。また、令和2年11月(予定)に月見の里学遊館の「ふくろい野外音楽芸術フェスタ2020」で、子どもたちがワークショップで創作した作品を展示するとともに、静岡理科大学が制作したアートとメディアをテーマとしたコンテンツを体験できるコーナーを設定いたします。今後は、このような場所を増やしていきます。その他詳細は資料のとおりです。

[質疑・意見]

なし

●袋井図書館長

袋井図書館50周年記念イベント(青空カフェなど)の開催であります。当初予算額は1,000千円であります。袋井図書館は、令和2年度に開館50年の節目を迎えることから、隣接する高尾町公園を活用する「青空図書館」や「記念講演会」等の記念イベントを開催し、

読書活動や図書館利用の促進を図っていきます。併せて、記念グッズ（図書マイバック）の作成・配布を実施していきます。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認します。

【報告事項】

(1) 報第8号 令和元年度幼稚園・保育所・こども園評価結果について

●すこやか子ども課長

本評価については、毎年実施しております。意識調査については、「袋井の教育」の重点施策に基づき、具体的な調査項目を定めて実施しています。主な項目のみ報告させていただきます。保護者への質問で、「家庭では、テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを子どもと決めていきます。」に対し、昨年度の88.5%から本年度は85.8%と若干下がっています。保護者への質問で、「家庭では、生活習慣を身に付けるための取組を行っています。」に対し、昨年度の95.5%から本年度は96.3%と若干上がっています。また、保護者への質問で、「園には、信頼できる先生がいます。」に対し、昨年度の97.9%から本年度は98.6%と若干上がっています。さらには、教職員への質問で、「園では、「思考力の芽生え」を意識した保育を行っています。」に対し、昨年度の97.6%から本年度は99.4%と若干上がっています。どの項目においても概ね90%に到達しています。

次に、職員のみ実施する事業等調査については、「地域子育て支援事業の推進」、「子ども・子育て支援事業の推進」、「幼小中移管教育事業」の3項目ともに、昨年度より向上しています。教職員のみ実施する実態調査（教職員の資質向上）については、昨年度と横ばいの88.1%となっております。

次に、事業等調査における自由意見について、主なものを報告させていただきます。

「地域子育て支援事業の推進」については、「こども園の一時預かり事業が定着し、利用者が増えており必要な事業であると感じる。」や、「こども園化への整備が少しずつ進んできていてよいと思う。」などの意見がありました。

「子ども・子育て支援事業の推進」については、「発達支援等の相談が充実してきており、子育てに対しての安心感が広がっている。」や、「保健センターや支援室、はぐくみの連携を充実させてほしい。」などの意見がありました。

「幼小中移管教育事業」については、「定期的に合同研修を行い年々連携が図りやすくなっている。」や、「幼小は振り返り個票の話し合いができ、連携が取れるようになっている。」などの意見がありました。

これらの結果からの分析であります。各園でアンケート結果をもとに、前年度との比較、伸びているところや下げているところを分析し、園長会で意見交換を行い、園運営に活かしております。保護者が園の教育や子どもの育ちに理解して取り組んでいただいていることで、園や教員に対する信頼が生まれるものと思います。しかしながら、家庭でのメディア使用や親子の運動遊びについて保護者の不安が感じられますので、啓発を行っていきます。保護者のニーズを把握し、幼小中一貫教育についても教員の意識が高まっていますので、今後も就学前教育の充実に取り組んでいきたと考えております。

[質疑・意見]

●大谷委員

良い結果ということは分かりましたが、否定的な結果について注目すべきで、一人が全ての項目で否定的なのか、複数の人が一部の項目で否定的なのか、その点を伺いたい。

●すこやか子ども課長

評価結果の表を直接見たわけではありませんが、恐らく、複数の人が一部の項目で否定的な回答であったものと思われます。先程の自由意見にも肯定的な意見が多くありましたが、制度の変更が目まぐるしいので、一部の職員が不安に思っているものと考えられます。

●大谷委員

一人が全ての項目で否定的な回答でなかったということですね。

●すこやか子ども課長

再度、確認いたします。

●大谷委員

その後、詳しい情報をいただきたいわけではなく、改善しなければいけない問題点があれば配慮していただき、改善してください。

●鈴木教育長

意識調査については、回答方法と集計の仕方を教えてほしい。

大谷委員の質問については、幼稚園や保育所の先生は市職員になり、人事評価を行っておりますので、その点を部長から説明してください。

●伊藤教育部長

前期と後期に、市の施策に対して自身で目標を立てて、その評価に対し園長等との面談を必ず各2回行っています。その際に問題点などは吸い上げしています。異動の希望についても内容を細かく確認しています。そのような中では、特別に問題になる職員はいませんでした。

●大谷委員

ありがとうございました。

●鈴木教育長

また、アンケートの集計の仕方については教えてください。

●前嶋委員

幼稚園では、帰りの時に保護者と先生が話をしている姿をよく見かけられて、コミュニケーションが取れていると感じており、そのことが今回の評価につながっていると思われま

●すこやか子ども課長

先生の保護者への丁寧な対応が、コミュニケーションの中でしっかり取れていると、信頼できる先生の項目が上がってくると思われま

●前嶋委員

自由意見の中で、ぬっくの活用やはぐくみとの連携不足が懸念されていますが、お互いに一生懸命にやっているが、連携がうまくいかないと聞かれますが、何か一つ手があるのか。

また、「小中の連携に比べて、幼小の連携が弱いように思う。」とありますが、幼稚園の卒園式では、3歳児が卒園時には見違えるように成長しています。小中一貫につながる卒園式をはぐくみやぬっくの先生や小中学校の先生に見ていただける機会があると良いと思いま

●上原委員

アンケート結果について、課題がないように見えるが、何のために実施したのかが分からない。幼稚園ごとに特徴や運営方針があるため、調査を実施する際は、個別の園ごとに調査をまとめた方が課題に結びつくと思います。あまり役に立たないデータであると感じま

●すこやか子ども課長

全体的な課題は分かりますが、毎年、園ごとに経営方針を定めて運営していますので、今後、集計の方法については、課題の見える化などを検討して見たいと思います。ただし、園が小さい所は、個人が特定されないよう配慮する必要があると考えておりま

●瀬川委員

幼小中一貫教育で様々な試みが行われており、広報ふくろいの記事を見てプロジェクト的なことは理解できますが、具体的にどのような取組が行われているのかがよく分からない。私は保護者で色々な事業を見ており、広報の内容が理解できますが、地元の人たちにもわかりやすいように周知していただき、地元の意識を高める必要があります。

●すこやか子ども課長

ご意見ありがとうございました。交流研修やイベントなどの様々な機会、園だより等を通して、幼小中一貫教育の取組がわかりやすいように周知に努めていきま

●学校教育課長

小中学校も同じことなので、学校や学園ごとに意識して周知していきま

●瀬川委員

4つの学園が学園だよりで、同じ情報を共有していく方法もあると思います。

●教育企画課長

幼小中一貫教育の予算について、各学園の取組を支援するための予算（印刷製本費）で啓発対応していただければと考えております。

(2) 報第9号 (仮称) 袋井南認定こども園住民説明会の結果について

●すこやか子ども課長

開催の概要として、袋井南幼稚園、高南幼稚園及び袋井南保育所の3園を統合する(仮称)袋井南認定こども園の運営と施設整備について、社会福祉法人天竜厚生会と進めることを報告するとともに、施設の方針や今後の予定などに関し、説明会を開催しました。

第1回目は、駅前・高尾・愛野の連合会を対象に1月26日(日)に袋井南コミュニティセンターで行い、27人の参加がありました。第2回目は、高南・豊沢の連合会を対象に1月27日(月)に豊沢ふれあい会館で行い、24人の参加がありました。

主な意見と回答としては、天竜厚生会の運営に関することについて、「併設機能(児童発達支援事業や病児保育事業など)の実績はあるのか。」の質問に対し、「子育てセンターかきのみ(浜北)、さやのもり幼保(掛川)などで同様の実績がある。」と回答しています。

「開園後は、法人の保育士ばかりになるのか。」との質問に対しては、「法人雇用の保育士等となる。定員280人規模のため、約50人の保育士を要する。開園前後は、保育士等の人事交流を行う。」と回答しています。

次に、入園又はその手続き等に関することについては、「こども園は他地区からの入園もあるのか。」との質問に対し、「保育部は、市内各地区から入所申込があるため、利用調整の上、他地区からの入園もある。」と回答しています。その他詳細は資料のとおりです。

[質疑・意見]

●大谷委員

説明会参加者の内、地域住民と保護者の割合について教えてください。

●すこやか子ども課長

見た目の印象になりますが、8割から9割方が保護者で、地域住民の方は、自治会連合会長や民生委員、コミュニティセンター長などでした。

●上原委員

保護者の方が多かったのは良かったと思いますが、様々な質問がありましたが、主催者側として、全体的にお互いに満足できた説明会でしたか。

●すこやか子ども課長

事業に対する反対意見はありませんでした。事業が進むステージごとに、地元に入って説明会を行ってきて、今回が3回目ということもあり、地元も保護者もこども園ができるのは承知をされていて、保護者も具体的に今後どうなっていくのかを知りたがっている印象を受けました。

(3) 報第10号 「袋井市立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」について

●学校教育課長

文部科学省が、平成31年1月に「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を策定しました。ガイドラインの中で、時間外勤務の上限の目安時間が定められて、「原則として月45時間以内・年360時間以内（いずれも週休日及び休日の勤務時間を含む）、特例（児童生徒等に係る臨時的な特別の事業がある場合）として、月100時間未満・年720時間以内」とあります。その後、静岡県教育委員会としては、県立学校における方針を11月に決めました。本市教育委員会でも、令和2年4月に向けて方針を定めたものであります。時間外勤務の上限の目安時間については、国や県に準じて定めております。

平日の時間外勤務については、本市で言いますと午前8時15分から午後4時45分までが勤務時間となりますが、その前後の時間で超勤4項目（生徒実習・学校行事・職員会議・非常災害等緊急対応）が時間外勤務となります。また、週休日や休日の時間外勤務については、業務（部活動指導、成績処理、授業準備等）に従事した全ての時間が対象となります。

勤務時間の把握方法については、本市が取り入れている勤務実態管理システムで管理していきます。

実効性を担保するための取組については、管理職におきましては、各職員の健康状態を把握するとともに、勤務時間の状況を踏まえ、必要に応じて業務分担の見直すことが大切かと考えております。各職員につきましては、各自が働き方改革を意識するとともに、勤務時間を正確に記録することを大切に、実行できるように考えております。

本年度の時間外勤務について、小学校は平均50時間で、中学校は平均70～80時間となっております。

[質疑・意見]

●上原委員

時間外勤務の上限の目安時間に、特例とありますが、特例の例示はありますか。

●学校教育課長

文部科学省のホームページでは、例示されていると思いますが、例えば、いじめや問題行動などの対応として臨時的なものが対象となると考えております。

●上原委員

生死に関わることや、刑事事件などのことですか。

●学校教育課長

そのようなことも特例に含まれるものと考えます。

●鈴木教育長

後は、年度末や年度当初の繁忙期も含まれます。

●上原委員

長時間労働を好んで実施する職員もいますか。

●鈴木教育長

これはガイドラインの指針であり、罰則規定はなく、拘束力もないものになります。ただし、月 45 時間以上を放置していれば管理職の責任を問われます。

●瀬川委員

早く帰れるのに、帰れない雰囲気はありますか。

●学校教育課長

学校において、そのようなことはありません。

●上原委員

教員によって、業務分担の割り振りに違いがあるため、不満を感じている教育は多くいると聞いています。担当業務を上手に振り分けていかないと時間内での勤務は守られていかないと思います。

●鈴木教育長

公務員の給料に関する法律の改正に伴い、時間外勤務の飛び出た時間を凹ませるために、今後、一年単位の変形労働時間制が使用できるようになっていきます。

時間外勤務は、校長が命令したものが対象で、自分で残って仕事をしているものは対象になりません。

また、部活動については、特殊勤務手当として、長勤手当として 2,700 円/時間、一日当たり 4,500 円を支給しております。

小学校の課外をなくすことはやむを得ないし、袋井南小のマーチングの問題も含めて、月 45 時間以内に収めていくために、様々なことを整理していく必要があることをご理解いただきたいと思います。タイムカードを入れたことも含め、少しずつでも前進しています。

(4) 報第11号 令和元年度学校関係職員離任式、令和2年度学校関係職員着任式について

●学校教育課長

学校関係職員離任式については、3月27日(金)の午前10時30分から袋井市総合センターで開催します。着任式については、4月2日(木)の午前10時30分から総合センターで開催します。

[質疑・意見]

なし

(5) 報第12号 令和元年度「袋井の学校教育」評価について

●学校教育課長

評価項目については、例年と同様です。目標との比較では、30項目で目標を達成しておらず、目標を達成したのは2項目であります。この結果を真摯に受け止めて、学校教育課として改善に向けて取組んでいきます。昨年との比較では、向上しているのが19項目で、低下しているのが10項目で、昨年より学校での努力が成果として見られました。

主な内容としては、徳育の「自分にはよいところがあると思う。」という項目は、本市が進めている自己有用感と関係するところであり、来年度から幼小中一貫教育の学園としての教育がスタートしますが、どの学園においても、子どもたちへの肯定的な認める声掛けを大事な理念としていますので、向上させていきたいと考えています。

また、知育(確かな学力を育む教育の推進)では、昨年との比較で向上している項目が多く、全国学力調査の結果についても上向けの傾向はありましたが、継続的に課題として受け止めていきたいと思ひますし、来年度は、新学習指導要領に基づく教育、幼小中一貫教育、タブレット端末を活用した教育など、新たな教育が始まりますので、力をいれていきたいと考えております。

もう一点、注目したのが、交通安全・防犯教育の充実で具体的な調査項目が、交通事故の件数であり、本年度は16件(1月末時点)と非常に多く、幸い命を失うことはありませんでしたが、各学校における指導について啓発してまいります。

なお、評価の数値については、4段階評価(「当てはまる」、「やや当てはまる」、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」)の内、最上位の「当てはまる」のみを数値として掲載しています。最上位のみにしたのは、平成26年度の浅羽中学校での魅力ある学校づくりの際の国のアドバイザーからの意見であり、このことで、自信を持って評価できることとなります。

[質疑・意見]

●大谷委員

自己有用感については、全国平均を上回るように醸成して行ってほしい。

1点、非常に気になっているのは、「学校に信頼できる先生がいる」の項目で、子どもと保護者の評価において、保護者の評価が低く、乖離が見られる。身近で見ている子どもたちの評価の方が正しいと思うので、保護者にも教職員の頑張りを理解してもらう必要があると思いました。広報したから広がるものではありませんが、その点が少し気になりました。

●学校教育課長

今の点については、分析をしているわけではありませんが、保護者が子どもを介して回答しているため、最上位の「当てはまる」で回答するのは難しいのかもしれない。

もう一つは、先程も出ましたように、子どもたちの様子を広報していくのも実感を得られる一つの方法であると考えますので、検討していきたいと思います。

●鈴木教育長

「学校に信頼できる先生がいる」の項目で、中学生の回答が、前年度の35%から本年度は49%と14%のアップはすごいことである。このことと、中学校が落ち着いている状況が重なって、落ち着いた環境の中で信頼関係は生まれてくるものだと感じていますが、その点はいかがでしょうか。

●学校教育課長

実際に中学校に行ってみると落ち着いていると思います。魅力ある学校づくりで、ボイスシャワーや認める声掛けが、学校に浸透してきているところも、評価に表れてきていると考えております。

(6) 報第13号 「袋井市英語教育推進プロジェクト」事業報告について

●学校教育課長

本報告については、プロジェクト委員会がイングリッシュ・デイキャンプや英検チャレンジなど、今まで報告したものをまとめたものになります。

本市の英語教育推進につきましては、平成27年度から計画を立てて推進してきました。本年度は、初めての全国英語力調査で、僅かでは余すが、全国平均を上回ることができました。(全国平均を100とした際の袋井市の指数は100.4)本市は、平成28年度から小学1・2年生に「SWITCH ON」等を活用した英語学習モデルプランを実施し、計画的に英語教育を推進しています。

今後の方向性について、プロジェクト委員会として協議した結果、イングリッシュ・デイキャンプについては、子どもたちの関心が高いため、開催方法を検討して継続すべきであるとの報告がありました。

英検チャレンジについても、年々参加者が増加しており、子どもたちの興味関心が間違いなく育っているのが、継続していききたいとの報告がありました。ただし、「中学高3年時に英検3級程度」を判断するのが難しく、今後は、英検の過去問やパフォーマンステストの内容を意識したものにするなど、これまでのノウハウを連動させていく取り組みが必要であるとの報告がありました。

本推進プロジェクトの機能については、新学習指導要領の完全実施に伴い、評価の観点や方法が変わり、これまで以上に小中学校9年間のつながりを意識した授業に取り組むことや、単元ごとのカリキュラム（ルーブリック）を用いた評価が必要となるため、今後は、小中一貫外国語カリキュラム検討会に変更していきます。

[質疑・意見]

なし

(7) 報第14号 静岡理科大学第26期卒業生卒業記念品の寄贈について

●生涯学習課長

平成7年度から卒業記念として愛野公園に植樹を行ってきましたが、平成30年度に植樹スペースが全て埋まり、事業が完了しました。そのため、大学の意向により、本年度から図書館に図書の寄贈を受けることになりました。寄贈図書は、児童生徒等が数学や理科に興味や関心を持ってもらうため、大学が選定した67冊です。寄贈式は、3月6日(金)の午前10時から市役所庁議室で行います。

[質疑・意見]

なし

(8) 報第15号 令和元年度袋井市子ども読書活動推進計画読書調査結果について

●袋井図書館長

本調査は、子どもの読書の状況及び小中学校における読書啓発活動等の現状を把握し、子ども読書活動推進に向けた取り組みに活用することを目的として実施しました。

市内の幼稚園こども園等の園児、小中学校のうち指定の学年1クラス抽出し、アンケート調査（設問6項目）を行いました。

調査の結果、「週に一度は家庭で本に親しむ子どもの割合」については、昨年より増加しているが、「1か月の子どもの読書冊数」等は減少した項目もありました。

今後の取組として、「ふくぶくつうちょう」や「ほんナビきっず」を周知するため、ブックスタートやおはなし会等で紹介するとともに、新一年生や来館者にチラシを配布し周知していきます。また、学校と連携して「ほんナビきっず」等を利用し、学校への配本時に児童生徒が興味を持つような本の紹介や授業でブックトークを行うなど、子どもたちの本への関心が持続するような取組を行っていきます。

[質疑・意見]

●上原委員

以前にも提案しましたが、「家庭で親が子どもに読み聞かせを行っているか」をアンケート調査の項目に追加することで、図書館から家庭への働き掛けが増えるので検討してください。

●袋井図書館長

ご意見ありがとうございます。検討していきます。

(9) 報第16号 新システム導入後の運用状況について

●袋井図書館長

令和元年12月3日から新システムが稼働し、2か月が経過したので、昨年同時期と比較し利用状況を分析した結果、個人貸出冊数、利用者数、来館者数ともに増加しました。特に「ふくぶくつうちょう」や「ほんナビきっず」の児童向けのサービスを導入した効果は大きく、0歳から12歳までの児童の利用者数については、大幅に増加しました。

個人貸出冊数は、12月は前年同月比2%増と前年度並みであったが、1月は7%増加しました。特に児童書貸出冊数が11%増加しました。

延べ利用者数は、12月は前年同月比5%増、1月は11%増で、そのうち児童の利用者数が12月43%増、1月49%増と大きく増加しました。

来館者数は、12月は4%増、1月は18%増であり、「ふくぶくつうちょう」の発行部数は2か月で1,276冊です。

分析の結果ですが、12月は児童書の貸出冊数が5%増加しているものの、システム更新による長期休館前に貸出期間(日数)を延ばしたこと、長期休館前の駆け込み利用などが影響し、全体で2%の増加に留まったと考えられます。利用者数の増加については、12月・1月ともに40%以上と、今回導入した「ふくぶくつうちょう」や「ほんナビきっず」の効果が出ていると思われま

す。今後の運用ですが、「ふくぶくつうちょう」や「ほんナビきっず」を様々な機会に周知し、利用の促進を図る取り組みを行っていきます。

[質疑・意見]

なし

(10) 報第17号 寄附品の受納について

●教育企画課長

2件ありまして、1件目が横断旗130本です。設置場所は、袋井西小に45本・袋井北小に85本で、寄附理由は、子どもたちの登下校中の安全に貢献したいためです。寄附者は、遠州イエローハットと清水銀行です。物件価格は114,400円で、地方創生私募債の発行企業から受け取る手数料の一部を寄附したものであります。1月17日に来庁されて寄附贈呈式を行いました。

2件目は、木製ベンチ6台です。設置場所は袋井中学校で、寄附理由は、部活動の技能向上及び連帯感の涵養のためです。寄附者は、袋井中学校教育振興会で、物件価格は198,000円です。陸上部やサッカー部、野球部などが利用します。

[質疑・意見]

なし

(11) 報第18号 袋井市立学校設置条例等の一部改正について

●すこやか子ども課長

本件については、3本の条例改正で、袋井市立保育所条例と袋井市立幼保連携型認定こども園設置条例については、12月26日の教育委員会定例会において、袋井南幼稚園の認定こども園化に伴い報告したものであります。その際、袋井市立学校設置条例の別表の幼稚園の中で、施設の種別が認定こども園に変更した「袋井市立袋井南幼稚園」の項を削る必要があり、袋井市立学校設置条例も同時に改正しなければならなかったが、失念し漏れてしまったので、今回改めて報告させていただきます。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

報告事項については以上となります。

7 その他

(1) 連絡事項

- ア 学校閉庁日の設定について
- イ 令和2年度 袋井市教育委員会の主な年間行事予定について
- ウ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」令和2年3月号

(2) 次回定例会等の予定について

- ア 2月教育委員会臨時会 2月28日(金) 午後5時00分～ 301会議室
- イ 3月教育委員会定例会 3月26日(木) 午後1時30分～ 302会議室

(3) その他

8 閉会

(午後3時15分閉会)